

算数

第5学年

育成を目指す資質・能力 【課題を見つけ、追究する力】

ふるさと庄原農業活性化プロジェクト！庄原のお米の価値について考えよう！「単位量あたりの大きさ」

【単元の概要】

本単元は、庄原の農業の活性化を目指して、総合的な学習の時間と社会科、家庭科、算数科との関連を図ることによって、農業、販売、米の種類・値段といった内容に着目し、課題を発見し解決していく学習です。児童は、庄原の農業の活性化のために、庄原のお米の価値を調べアピールする活動を行います。ここでは、庄原のお米と他の地域のお米の価値とを比較するために、単位量あたりの大きさに着目し、相対的に比較する考え方が必要となってきます。総合的な学習の時間でもった課題を解決するために、算数科で学んだことを活用しながら課題解決に向けて追究していきます。

◆単元の目標

異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解できる。

◆単元の計画（全6時間）

【課題の設定（社会）（総合的な学習の時間）（家庭）】

- ・我が国の米の生産は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解する。（社会）
- ・1学期の総合的な学習の時間で、農業の課題の一つに、食生活の変化などから消費が減り、米の価値（値段）が昔に比べて下がっていることが挙げられたことを想起し、「庄原のお米の価値は他と比べてどうなのか」という課題をもつ。（総合的な学習の時間）
- ・庄原のブランド米を実際に食べて、感想をもつ。（家庭）

【課題の設定、解決（4時間）】

- ・総合的な学習の時間での課題を解決するために、庄原のお米の価値と他の地域のお米の価値とを比較し、その結果をレポートにまとめていくことをゴールとし、そのために必要な学習について考える。
- ・お米の重さと値段という二つの量の割合と捉えられる米の価値の比較は、既習の比べ方では比較ができないことに気づき、どちらかの量にそろえる必要があることを導き出し、それを使って問題解決をする。
- ・単位量あたりの大きさをを用いて、二つの観点から量の大きさを比べる。

【まとめ・表現（1時間）】

- ・学習した知識を活用して、お米の価値を考える方法の一つとして、値段と重さに着目した「単位量あたり」の考え方があることに気づき、考えた結果をレポートにまとめる。

【振り返り、課題の設定（1時間）】

- ・ノートやレポートを基に、身に付いた力を自覚したり、自己の学びの成果を感じたりすることを通して、自らの学びに自信をもつ。

【実行（総合的な学習の時間）】

- ・庄原の農業の活性化のために、庄原のお米のすばらしさをリーフレットにまとめ、地域に発信する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	チョコレートをもとのかたちにもどそう「かたちづくり」
	2	色々な形さがし「三角形と四角形」
	3	買い物に行こう「たし算とひき算の筆算」
	4	変化を表そう「折れ線グラフ」
	5	必要な情報を整理しよう「合同な図形」
	5	農活フェスティバルのリーフレットを作成しよう「割合」
総合的な学習の時間	6	色々な形の庄原焼き！どれがお得かな？「円の面積」
	3	庄原じまんをみつけよう！－「九日市」アピール大作戦－
	4	庄原に生きる人とつながろう！－「庄原焼き」アピール大作戦－
	5	「ふるさとグルメガイド」を作ろう－ふるさと庄原の農産物をアピール－
	6	庄原に誇りをもち、未来を創り上げよう－わたしたちの提案－